

ごあいさつ

東急グループは、おかげさまでもちまして、2022年9月2日に創立100周年を迎えることができました。

ひとえにお客さまをはじめとする多くの皆様にお支えいただいたからこそ、深く感謝いたしますとともに、心より御礼申し上げます。

東急グループの源流は、渋沢栄一翁が東京の急激な都市化による住環境の悪化を受け、自然と都市が調和した理想的な住宅地を開発するため、田園都市株式会社を設立したことに始まります。その移動の足としての鉄道事業の経営を担ったのが、当社の実質的創業者である五島慶太翁であります。

1922年9月2日、鉄道部門が分離独立し、現在の東急株式会社の前身となる目黒蒲田電鉄株式会社が設立されました。

五島慶太翁と、その意思を引き継いだ五島昇は、「東急多摩田園都市」の開発に代表されるよう、鉄道バスとまちづくりを一体とする事業を基盤に、まちに住む方々の利便性を第一に考え、建設、リテール・生活サービス、ホテル・レジャー、そして学校法人や文化・環境関連にいたる幅広い分野において、事業を展開してまいりました。

創業以来、幾多の難局がございましたが、その時々々の社会課題に向き合い、挑戦し、まちづくりを通じて、お客さまに価値を提供するというDNAを変わずに受け継ぎ、諸先輩の努力と関係各位のご支援により、その苦難を乗り越えてまいりました。

このたび、その100年にわたる東急グループの歴史を取り纏めた「東急100年史」を発刊する運びとなりました。

今日の事業環境の変化はますます速く、大きく、かつ複雑になっておりますが、このような環境下においても、企業集団として成長し続けるためには、社会そしてお客さまのニーズを追求し、付加価値を継続して創出していくことが重要であると考えております。



1997年に制定した「美しい時代へ ― 東急グループ」というスローガンには東急グループが、自ら美しくあり続ける覚悟と、美しい生活環境を創る先駆者になる決意が込められております。

これまでの100年を築いてこられた諸先輩の事業に対する思い、そしてその経験と教訓から多くを学び、これからの100年も引き続き、お客さまに安全・安心と快適さを提供し、「楽しさ」「豊かさ」「美しさ」を感じていただけるサステナブルなまちづくりと事業成長との両立により、東急グループのさらなる発展に邁進してまいる所存です。

皆様には小史を通じて、東急グループの理念、そして事業活動についてご理解を深めていただければ幸いです。

今後ともより一層のご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます、発刊のご挨拶といたします。

2023年9月

東急グループ代表 **野本弘文**